

美術学科准教授 萩原 清作

1. 研究活動

名古屋芸術大学教員作品展	2011. 6. 10 ～6. 15	名古屋芸術大学西キャン パス BE ギャラリー	・裸婦 1 点 (中) ・デッサン 1 点 (紙)
井田淳一と教え子たち展	2011. 11. 15 ～12. 4	群馬県富岡市立妙義ふる さと美術館	・裸婦 1 点 (中) ・デッサン 2 点 (紙)

2. 教育活動 (教育実践上の主な業績)

大学院授業担当 有 無

授業科目 基礎デッサン		2011 年「夏期人体制作研究会」 2011 年 8 月 2 日 (火)～9 月 10 日 (土)、 約 1 ヶ月、在学生、OB、教員による 具象彫刻研究
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
テラコッタ粘土による対象のスケッチ (デッサンする前の立体感の把握のため)	石膏像 (ラボルトの首、アムール等) 人体、クロッキー、デッサン	2012 年「春期人体制作研究会」 2012 年 2 月 29 日 (水)～4 月 3 日 (火)、 在学生、OB、教員による具象彫刻制 作研究
授業科目		
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
彫塑 (モデリング) のための芯棒の意義 について (大切さについて)	「アヴタヴィナス」ギリシア彫刻画集及 び、ギリシア彫刻の歴史、作家等	
授業科目 彫刻基礎Ⅱ		
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
「首像」制作 人体模型 (頭部の骸骨に よる立体の組立の説明)	女性のモデルによる首像制作	

3. 学会等および社会における主な活動